

令和7年12月定例会 県土都市整備委員会（追加提出議案）の概要

日時 令和7年12月18日（木） 開会 午後1時45分  
閉会 午後2時21分

場所 第9委員会室

出席委員 柿沼貴志委員長

戸野部直乃副委員長

栄寛美委員、松本義明委員、宇田川幸夫委員、細田善則委員、齊藤邦明委員、  
高橋政雄委員、木村勇夫委員、中川浩委員、諸井真英委員

欠席委員 なし

説明者 [県土整備部関係]

吉澤隆県土整備部長、加来卓三県土整備部副部長、  
飯塚雅彦県土整備部副部長、伊藤太一参事兼河川砂防課長、  
小山省吾県土整備政策課長、坂田竜也県土整備政策課政策幹、  
奥広文建設管理課長、松井千依用地課長、永井儀男道路街路課長、  
吉岡一成道路環境課長、田島清志河川環境課長

小山直紀収用委員会事務局長

[都市整備部関係]

伊田恒弘都市整備部長、内田浩明都市政策・公園局長、  
中村克まちづくり局長、齊藤浩信都市整備政策課長、  
石川修都市計画課長、荒井正之市街地整備課長、  
小松克枝建築安全課長、金澤圭竹住宅課長、遠井文大公園スタジアム課長、  
榎本恒彦営繕課長、田島和彦設備課長、武田敦弘産業基盤対策幹

会議に付した事件並びに審査結果

1 議案

議案番号	件名	結果
第175号	令和7年度埼玉県一般会計補正予算（第6号）のうち県土整備部関係及び都市整備部関係	原案可決

2 請願

なし

### 【付託議案に対する質疑（県土整備部関係）】

#### 栄委員

- 1 道路事業、河川事業に関する部分で、今回の12月補正で具体的にどのような事業を実施するのか、全体的な概要を伺う。
- 2 クマ対策の関係で4点伺う。今回の緊急浚渫推進費で、河川の樹木の伐採の関係で予算が計上されており、箇所図も確認したが、西部のほう山間家部のところで、この辺りに対策箇所が集中している形だが、かなり広いエリアで12か所選定されているが、これは限られた場所になっているが、クマ対策に有効な箇所なのか、対策箇所の選定の考え方について伺う。
- 3 クマ対策は一つの自治体に留まるわけではないため、結構広域な対策が必要になる中で、県でもこのような対策を取っていただき、近隣の市町村ともしっかりと情報を共有しながら連携して、また他部局との連携も必要になると思うが、この辺り近隣市町村との連携はどう考えているのか伺う。
- 4 クマについてはテレビ報道で他県の状況等も報じられており、本県の状況もある。県民も不安に思っている。私も不安である。猟友会や関係団体はもちろんだが、地元の住民の方々にも、このように県が対策を取るということを、他部局の事業も含めた中で、しっかりと情報共有、情報提供をしていただくことが、県民の安心につながると思うが、この辺りどのように連携を図って推進をしていくのか伺う。
- 5 今後の予算可決後の対策をどのようなスケジュール感で動くのか伺う。

#### 道路街路課長

- 1 道路事業では、県土の強靱化、及び地域の活性化や安心安全に資する事業を計上している。今回の公共事業の補正では、バイパスや道路拡幅、交差点改良などの工事を、前倒しして早期着手することにより、事業の進捗を図ることとしている。例えば、道路改築事業費では、国道254号和光富士見バイパスにおいて、令和8年度以降に予定していた、JR武蔵野線と立体交差部の地盤改良工事に前倒しで着手する予定としている。また、交通安全施設整備事業費では、歩道整備を前倒して実施し、児童生徒の皆様の安全を早期に確保すると考えている。

#### 参事兼河川砂防課長

- 1 河川事業については、今回の補正予算により、河道や調節地などの流域治水対策を前倒しで行うことで、早期の浸水被害軽減を図っていく考えである。例えば、河川改修事業費国庫補助事業では、令和5年6月の大雨による浸水被害の大きかった新方川において、新規調節池の用地買収に前倒しで着手する予定である。

#### 河川環境課長

- 2 河川は、クマが人の生活圏に進入する際の移動ルートとなっている可能性が高いことから、埼玉県ツキノワグマ出没マップ、みどり自然課が作っているが、この計画に基づき、河川付近のクマの出没が確認された箇所のうち、近隣に人家がある12か所において、河川区域内の樹木を伐採することとしている。
- 3 今年度にクマの出没情報のあった市町村には、環境部が会議や研修等を通じて情報を共有していると聞いている。環境部と連携しながら、今回の樹木伐採箇所についても、

近隣の市町村に情報提供し、連携した効果的な対策が講じられないか、しっかりと市町村と連携していく。

- 4 猟友会員などの関係団体、あるいは地元への周知についても、環境部が市町村と同様に情報共有や提供を行っているため、これと連携しながら、猟友会などの関係団体や地元の方々に周知をしていく。
- 5 今後のスケジュールについては、冬眠明けのクマの出没抑制に効果を発揮させるために、令和8年4月までに伐採の完了を目指して頑張っていきたいと思っている。また、クマが冬眠している時期に伐採作業を実施することで、作業員の安全性を高めることが期待できると考えている。専門家にいろいろな伐採箇所の範囲などを、現地で助言をいただきながら、伐採作業を進めていく予定である。

#### 中川委員

- 1 クマについて、答弁があった伐採をしている最中の安全対策で、実際にクマが出てきた、警察に通報する、ピストルしか持っていない。猟友会とどのようにシミュレーションをしているのか伺う。
- 2 今回の国の経済対策の尺の中で、本音で言うが、県土整備部の予算を全部賛成したいと思っている中で、道路の緊急性、物価高対策で出てきている予算なので、安全性が大枠として、細かいことは全然良いが、今回入れておかなければ、安全がこのような例で難しいということを伺う。

#### 河川環境課長

- 1 猟友会との連携だが、地元市町村がいろいろな地域の実情を知っているため、市と連携をしながら、猟友会とどのようなタッグが組めるのか、どのようなやり方であれば人的被害が少ないのか、そのようなことをしっかりと意思疎通を図りながら、丁寧に進めていきたいと思っている。

#### 道路街路課長

- 2 今回の補正予算においては、国の経済対策における、防災・減災、国土強靱化の推進に迅速に対応するため、例年補正をお願いしている2月補正予算ではなく、12月補正予算をお願いをしているものである。今回の補正内容だが、バイパスの整備によるリダンダンシーの確保や、通学路の安全対策による児童生徒の安全確保、そして橋りょうの計画的修繕による老朽化対策などであり、県民の安心安全に直結する事業と考えている。これらの事業を前倒して実施することで、県民の安心安全を早期に確保したいと考えている。

#### 中川委員

クマだが、2週間ほど前に、猟友会との連携を具体的に検討し始めたという話が、県警本部の管理職からあった。そこで、先ほどの栄委員と関連するが、私や松本委員の近所では、飯能の市民会館のすぐ近くでクマの目撃情報、ググるとどこにクマの目撃情報があったのか分かるようになっているが、一般県民の方はそれでびびってしまうので、このように対策を講じようとしていることを、いつ県としてSNSで、それでないとな飯能をはじめとした地域経済は、かなり観光で激減しているはずなので、県土整備部の仕事というよりも、広報課にどのように仕事をしていただく予定か伺う。

## 河川環境課長

まず河川環境課で三つのSNSを持っている。加えてホームページがあり、頻繁に情報を上げるようにしている。今回のクマ対策についても、会議をし、方向性がまとまってきたら、いつから着手するや、このような効果が見込まれるなど、そのようなところを丁寧に、SNSを使ったり、あるいは県のホームページ、あるいは市の協力を求めて、いろいろと考えられると思うが、現地に看板を設置するなど、いろいろなことを対策して、県民の皆さんが不安にならないような対策を、環境部が主体となっている会議の中で検討していきたい。

---

## 【付託議案に対する質疑（都市整備部関係）】

### 松本委員

- 1 社会資本整備総合交付金、公園の事業費だが、今回先ほど部長から説明があった5か所を選定した理由を伺う。
- 2 具体的にどのような事業内容を実施するのか伺う。

### 公園スタジアム課長

- 1 今回の国の経済対策においては、3本柱のうちの第2の柱として、危機管理投資・成長投資により強い経済を実現することとしている。具体的施策として、防災減災、国土強靱化の推進が挙げられている。その中で、防災活動拠点となる都市公園の整備や、公園施設の老朽化対策への重点的な支援が含まれている。今回国が設定した交付金の対象事業に合致し、かつ前倒しにより早期の事業効果発現などが見込まれる箇所を選んだ。具体的には、防災活動となる都市公園の整備としてさきたま古墳公園を、また老朽化対策として、所沢航空記念公園、和光樹林公園、秩父ミュージックパーク、こども動物自然公園を選定させていただいた。
- 2 さきたま古墳公園だが、現在拡張整備を進めている。来年度予定をしていた雨水排水施設、これは園路沿いの側溝や暗渠排水などの整備を順次進めており、これを前倒しで実施し、早期完成に向けて事業を推進していくものである。また、老朽化対策として、こども動物自然公園だが、老朽化したアスレチック遊具がある。今回の補正予算を活用して更新工事を進めていく。所沢航空記念公園では、現在リニューアルをしている航空発祥記念館の修繕を引き続き進め、和光樹林公園では広場の大型屋根の改修を行い、秩父公園では管理事務所の更新をそれぞれ実施していく。

### 中川委員

局長に伺う。先ほどの議案質疑で、所管のことは質疑できないので申し上げなかったが、今回の補正予算で、他部局とのバランスの中で、部下の方々から予算案が上がってきたときに、保育士の処遇改善とか、貧困な人のほうが優先だから、今回は我慢しようなど、副課長、課長、部長という間に、局長のメスをどうして入れてなかったのか伺う。

### 内田都市政策・公園局長

まず今回の補正予算だが、大きく分けて2点あり、一つは物価高騰対策として、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して行う事業、もう1点が、今回都市整備部で議案としてお願いをしている、公園整備の社会資本整備総合交付金ということで、交付金の財源がそれぞれ異なる。そのような中で、今回都市整備部としては、社会資本整備総合

交付金の中で、公園の老朽化対策、それから防災拠点としての公園整備ということで、議案として出させていただいた。

#### **中川委員**

今後の研究課題としていただきたいが、お聞きしていると、縦割りの弊害としか思えない。理由は、局長が答弁されたのは、国のメニューの中で県庁がどれを選んだかというだけの話なので、先ほど質疑させていただいたように、メニューにあっても、今回は我慢しようという優先順位は思われなかったのか。

#### **内田都市政策・公園局長**

今回はそれぞれ交付金の財源が異なるものであるから、優先順位をどちらにするという性格のものではないと考えているため、今回は、そのような形でそれぞれ、社会資本整備総合交付金と、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金ということで分けて考えさせていただいた。

---

#### **【付託議案に対する討論】**

なし